



平成24年4月27日

各 位

上場会社名 第一工業製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 大柳 雅利
(コード番号 4461)
問合せ先責任者 取締役財務本部長 浦山 勇
(TEL 075-323-5955)

公募増資及び株式売出しによる資金調達の使途の変更について

当社は、平成23年2月28日付「新株式発行及び株式売出しに関するお知らせ」及び平成23年3月8日付「発行価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ」並びに平成23年3月25日付「第三者割当増資における発行株式数の確定に関するお知らせ」により開示いたしました調達資金の使途につきまして、下記の通り変更することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、平成23年2月28日に決議した公募増資及び第三者割当増資に係る手取資金9億68百万円は当初、投融資資金に5億20百万円、運転資金に4億20百万円、残額を借入金の返済に充当する予定にしておりました。

投融資資金の5億20百万円は、将来、中国における活性剤事業進出のため、中国現地企業との合弁会社を設立し、この出資金として充当することを予定しておりました。

しかしながら、中国事業環境の変化により、中国現地パートナー企業から合弁解消の提案がなされました。これを受け当社として再検討した結果、本件に関しては合弁解消も止むなきにいたり、平成24年4月27日開催の取締役会において本計画における合弁会社への出資の中止を決定いたしました。

このため、手取資金は、運転資金として昨年4月に完全子会社化した四日市合成株式会社の事業を円滑に継続・発展させるためのインフラ整備費用である4億20百万円と借入金の返済である28百万円への充当に止まっています。

2. 調達資金の新たな使途

当社は、中期経営計画である「チェンジ100計画」、ステージⅠが本年3月末で終了しました。企業体質の転換を図ることを目指した3年計画は、課題を残しながらも所期の目的をほぼ達成しました。また、この4月1日からは、同計画のステージⅡの取組みを開始しています。新計画は収益を伴う拡大を目指しており、積極的な設備投資を見込んでおります。(平成24年3月26日開示の「中期経営計画『チェンジ100計画』、ステージⅡー収益を伴う拡大ーについて」をご参照ください。)

今回の投融資資金として未使用となりました5億20百万円相当の資金は、平成24年度中に本計画の遂行に必要な設備資金及び運転資金に充当し、残額が生じた場合は借入金の返済資金に充当するものと致したいと存じます。

株主の皆さまには、何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

以 上